

長浜市高齢者福祉施設個別施設計画の策定について（経過報告）

1 目的

高齢者福祉施設（高齢者福祉センター：7か所、デイサービスセンター：10か所等）の老朽化が進んでおり、施設の方向性を定める必要があります。

施設ごとの具体的な検討を通じて、市域全体としての施設の適正な機能、配置を見直し、計画的な維持管理と、市民サービスの確保の両立を図るものです。

2 計画期間 策定日から令和16年度まで

3 経過 令和7年7月 健康福祉常任委員会（着手報告）
長浜市公共施設マネジメント推進委員会（着手報告）
長浜市高齢者保健福祉審議会（着手報告）

4 現状と課題

人口推移 《資料1》	市全体では、高齢者人口、高齢化率の高止まりが続きますが、地域ごとにその推移に差異が見られます。
---------------	---

高齢者福祉センター 《資料2》	1	類似施設との機能重複による役割の課題
	2	利用者数の減少、施設稼働率の伸び悩み
	3	適正な維持管理の必要性

デイサービスセンター 《資料3》	1	民間事業者増加に伴う「公」の役割の変化
	2	利用者の安心につながるサービス提供量の確保
	3	設備機器類の不具合がケアと収支に直結

5 計画の方向性

高齢者福祉センター	1	官民類似施設の立地状況を踏まえた施設の整理統合
	2	施設の利用促進
	3	適正な維持管理、計画的な修繕の実施

デイサービスセンター	1	施設の廃止・集約の推進と、民間譲渡の検討
	2	利用者が引き続き安心して利用できる環境の確保
	3	適正な維持管理、計画的な修繕・機器更新の実施

6 今後の予定

- | | | |
|------|------|---|
| 令和8年 | 3月 | 健康福祉常任委員会（経過報告） |
| | 6月 | 健康福祉常任委員会（パブリックコメント実施前報告）
パブリックコメント |
| | 7～8月 | 長浜市公共施設マネジメント推進委員会（最終案報告）
長浜市高齢者保健福祉審議会（最終案報告） |
| | 9月 | 健康福祉常任委員会（最終案報告）・策定 |

高齢者人口および認定者数の見込み <<資料1>>

高齢者人口は増加傾向にあり、令和27年にピークに達すると見込まれます。

また、要支援・要介護認定者数についても今後10年以上増加を続け、令和22年にピークに達すると見込まれます。

地域ごとにみると、市北部では65歳以上人口はすでにピークを過ぎている一方で、市南部での増加傾向は今後も続くと見込まれ、推移に差異が見られます。

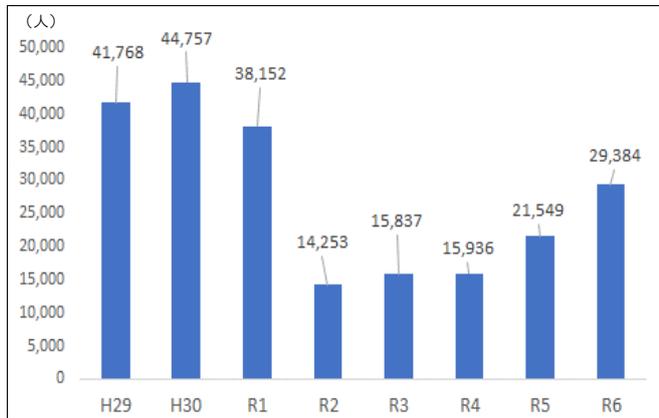
		令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和12年	令和17年	令和22年	令和27年	令和32年
		2023	2024	2025	2026	2030	2035	2040	2045	2050
市全体	65歳以上	33,254	33,450	33,549	33,639	33,929	34,297	35,457	35,538	34,730
	75歳以上	18,369	19,096	19,621	20,041	20,490	20,193	19,886	19,925	21,073
	要支援・要介護 認定者数	6,727	6,828	6,924	7,004	7,485	7,853	7,949	7,784	7,758
①南長浜	65歳以上	7,013	7,116	7,201	7,272	7,711	8,310	9,100	9,290	9,266
	75歳以上	4,101	4,234	4,301	4,388	4,339	4,395	4,731	5,187	5,755
②神照郷里	65歳以上	8,263	8,387	8,464	8,571	8,993	9,582	10,545	11,209	11,401
	75歳以上	4,456	4,710	4,923	5,070	5,327	5,374	5,582	5,953	6,727
③浅井	65歳以上	3,541	3,567	3,585	3,624	3,716	3,737	3,822	3,803	3,751
	75歳以上	1,894	1,979	2,037	2,097	2,253	2,264	2,238	2,148	2,226
④びわ	65歳以上	2,286	2,303	2,327	2,361	2,401	2,355	2,296	2,194	2,116
	75歳以上	1,189	1,275	1,333	1,379	1,535	1,578	1,483	1,355	1,351
⑤虎姫	65歳以上	1,602	1,611	1,612	1,581	1,510	1,395	1,267	1,134	1,002
	75歳以上	878	907	918	937	952	931	802	698	637
⑥湖北	65歳以上	2,555	2,532	2,511	2,497	2,359	2,173	2,027	1,934	1,782
	75歳以上	1,380	1,425	1,457	1,481	1,472	1,387	1,260	1,129	1,046
⑦高月	65歳以上	2,917	2,906	2,860	2,826	2,653	2,430	2,314	2,189	2,041
	75歳以上	1,565	1,614	1,644	1,693	1,723	1,581	1,375	1,193	1,153
⑧木之本	65歳以上	2,466	2,425	2,412	2,367	2,201	2,081	2,015	1,925	1,741
	75歳以上	1,393	1,416	1,438	1,419	1,386	1,277	1,156	1,113	1,092
⑨余呉	65歳以上	1,217	1,213	1,197	1,179	1,099	999	920	798	667
	75歳以上	728	752	756	755	722	678	610	539	501
⑩西浅井	65歳以上	1,396	1,388	1,382	1,360	1,287	1,234	1,151	1,063	959
	75歳以上	786	783	816	821	783	726	650	610	581

※第9期ゴールドプランながはま21作成時のデータを基に作成(推計値)

※①南長浜：長浜まちなか連合、六荘連合、西黒田連合、神田連合 ②神照郷里：神照連合、北郷里連合、南郷里連合

高齢者福祉センターの状況 <<資料2>>

* 全高齢者福祉センターの利用人数の推移



令和2年度、コロナ禍により利用者が急減しました。その後、事業の再開などにより徐々に回復傾向が見られますが、施設ごとに差異はあります。

* 利用実態 (R6)

	事業 (人)	貸館 (人)	計 (人)	貸館率
長浜東部	2,056	956	3,012	31.7%
長浜西部	601	2,257	2,858	79.0%
長浜北部	5,826	2,477	8,303	29.8%
湖北	0	3,756	3,756	100.0%
高月	1,121	3,664	4,785	76.6%
木之本	180	4,811	4,991	96.4%
余呉	0	1,679	1,679	100.0%

施設ごとに、事業・貸館の利用比率に差異が見られます。特に貸館の割合が高い施設については、他施設との機能重複が考えられます。

* 区分 (部屋) 別の利用状況 (R6)

	区分	利用件数(年間)	稼働率(R6.6月)
長浜東部	教養娯楽室	124	22.5%
長浜西部	さわやかルーム	99	10.0%
	ふれあいルーム	61	8.8%
長浜北部	教養娯楽室	212	31.9%
湖北	集会室	155	34.4%
	娯楽室	30	4.4%
	ふれあい交流室	176	33.8%
	和室	0	0.0%
	会議室	13	3.8%
高月	会議室	66	12.5%
	団体共用準備室	137	31.9%
	多目的大集会室	61	14.4%
	調理実習室	90	11.3%
	教養娯楽室	42	7.5%
木之本	会議室	5	0.0%
	研修室1	11	0.0%
	研修室2	119	28.1%
	調理実習室	60	12.5%
	介護実習室	61	13.8%
	多目的ホール	140	33.1%
余呉	サークル室1	0	0.0%
	サークル室2	42	5.6%
	活動室	100	27.5%

施設ごとの稼働率の違いの背景には、圏域ごとの総人口、近隣類似施設(まちづくりセンター等の貸館施設、民間のフィットネスジム等の健康増進施設)の立地状況等が要因の一つにあると考えられます。

※稼働率はR6.6月実績(利用時間合計/(20日×8時間))

※行政機関の利用等は除外

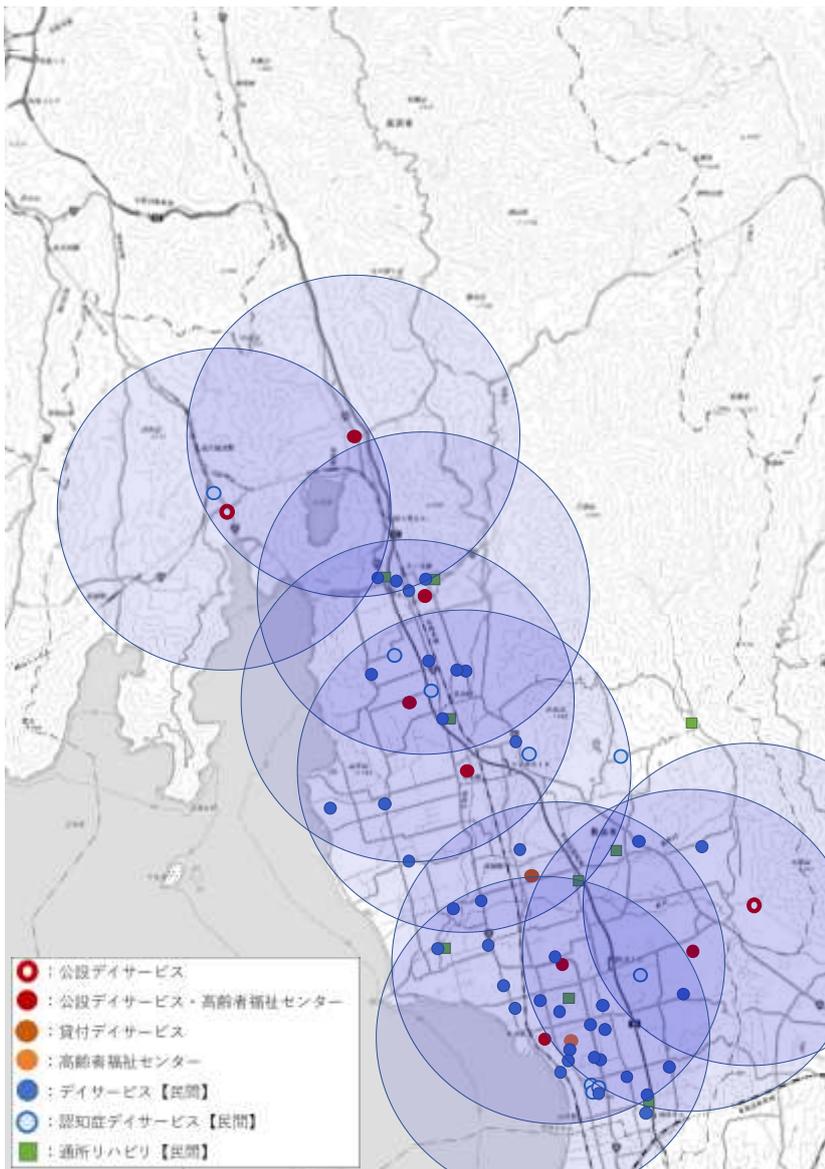
デイサービスセンターの状況 <<資料3>>

* 圏域別 事業所数（地域密着型・認知症対応型含む）の推移

介護保険制度が創設された平成12年（2000年）当時は、市域全体で15事業所、各圏域には1または2事業所のみでしたが、令和6年度末現在、62事業所と約4倍に増加しています。

圏域	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
南長浜	2	3	4	4	4	6	7	7	9	10	11	15	16	17	18	20	20	21	19	19	19	18	18	18	18
神照郷里	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	4	4	6	6	6	8	7	7	9	9	9	10	10	10	11
浅井	2	2	2	2	2	3	4	4	4	5	7	6	6	6	7	7	5	5	5	5	5	5	5	4	4
びわ	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	4	5	5
虎姫	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
湖北	1	1	1	2	2	4	4	4	4	4	5	5	6	6	6	7	7	7	6	6	6	6	6	6	5
高月	1	1	1	1	2	2	3	4	4	4	5	8	7	7	7	8	8	7	7	8	9	8	8	8	8
木之本	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	5
余呉	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
西浅井	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2
市計	15	16	17	19	21	28	32	34	37	40	48	54	59	60	63	69	66	66	65	66	67	64	63	63	62

* 市内事業所の分布状況



デイサービス事業所が送迎対応可能とする距離を半径5kmと設定した上で、各公設デイサービスセンターを中心に半径5kmの円を描いたものです。

市町合併前の旧町ごとにデイサービスセンターが設置されているため、市域北部を除く大半の地域では、隣接する圏域で利用可能範囲がかなり重複していることが分かります。

* 市内事業所の圏域別 稼働状況

公設事業所の名称	月当たり定員数(人)	利用実績(人)	利用率
合計 (市内事業所)	39,935	25,246	63.2%
南長浜圏域			
長浜西部デイサービスセンター	1000	621	62.1%
長浜長寿デイサービスセンター	300	122	40.7%
圏域全体	10,154	6,374	62.8%
※公設分の定員除く	8,854	6,374	72.0%
神照郷里圏域			
リハビリデイサービス東部	875	599	68.5%
神照リハビリデイサービス	735	549	74.7%
圏域全体	6,712	4,471	66.6%
※公設 (東部) 分の定員除く	5,837	4,471	76.6%
※公設 (神照) 分の定員除く	5,977	4,471	74.8%
※公設 (東部&神照) 分の定員除く	5,102	4,471	87.6%
浅井圏域			
リハビリデイサービス浅井	875	485	55.4%
圏域全体	4,286	2,907	67.8%
※公設分の定員除く	3,411	2,907	85.2%
びわ圏域			
圏域全体	4,000	2,454	61.4%
※公設は設置なし			
虎姫圏域			
デイサービスいろはの湯	630	423	67.1%
圏域全体	2,280	1,318	57.8%
※貸付分の定員除く	1,650	1,318	79.9%
湖北圏域			
リハビリデイサービス湖北	875	508	58.1%
圏域全体	2,551	1,393	54.6%
※公設分の定員除く	1,676	1,393	83.1%
高月圏域			
しゃきょうデイサービス高月	875	641	73.3%
圏域全体	4,172	2,716	65.1%
※公設分の定員除く	3,297	2,716	82.4%
木之本圏域			
リハビリデイサービス伊香の里アネックス	875	468	53.5%
圏域全体	3,955	2,268	57.3%
※公設分の定員除く	3,080	2,268	73.6%
余呉圏域			
余呉はごろも村 やまなみデイサービス	750	590	78.7%
圏域全体	750	590	78.7%
西浅井圏域			
リハビリデイサービス西浅井	1,000	755	75.5%
圏域全体	1,075	755	70.2%
※公設分の定員除く	75	755	1007%

※事業所は地域密着型、認知症対応型、通所リハビリテーションを含む。

※R7.6月利用実績

『利用率』は、(年間延べ利用者数/年間延べ定員数)により算出されます。事業所の定員数に対して、どの程度のサービス利用が行われたかを示す指標です。

福祉医療機構(*)の調査レポート(令和5年:2023年度版)によると、全国の通所介護サービスの利用率は平均69.4%。また、黒字・赤字事業所別の利用率は、黒字事業所が平均73.7%、赤字事業所が平均63.9%と報告されており、利用率の高低が経営状況に大きく影響していると考えられます。本市全体の利用率は63%と低い状況にあると言えます。

*福祉医療機構:福祉の増進と医療の普及向上を目的として設立された独立行政法人

* サービスの充足状況

利用者の居住圏域の定員数に対するサービス利用実績の割合を算出しています。利用需要に対して、自圏域内のサービス供給がどれだけ充足しているかがわかり、割合が低いほど自圏域のサービス需要に対して定員は充足しており、受入れの余力がある状況といえます。

一方で、100%を超える場合は、自圏域内の定員が不足している状況といえます。

(単位：人)

事業所		利用者の居住圏域											合計
所在地	定員数 (b)	南長浜	神照郷里	浅井	びわ	虎姫	湖北	高月	木之本	余呉	西浅井	圏域外	
南長浜	10,154	3,784	2,170	123	148	81	11	0	8	11	4	34	6,374
神照郷里	6,712	1,180	2,682	118	271	164	17	21	6	4	0	8	4,471
浅井	4,286	77	442	2,160	45	146	37	0	0	0	0	0	2,907
びわ	4,000	271	411	39	1,204	267	241	19	2	0	0	0	2,454
虎姫	2,280	98	333	117	121	473	100	57	19	0	0	0	1,318
湖北	2,551	17	17	9	102	69	963	187	29	0	0	0	1,393
高月	4,172	13	0	51	30	14	412	1,562	502	132	0	0	2,716
木之本	3,955	0	26	0	12	11	95	280	1,366	255	223	0	2,268
余呉	750	0	0	0	0	0	0	0	3	587	0	0	590
西浅井	1,075	0	0	0	0	0	0	0	17	0	738	0	755
合計(a)	39,935	5,440	6,081	2,617	1,933	1,225	1,876	2,126	1,952	989	965	42	25,246
居住圏域利用者数合計(a) /自圏域定員 (b)		54%	91%	61%	48%	54%	74%	51%	49%	132%	90%	-	63%

※R7年6月利用実績

※旧長浜市域（南長浜・神照郷里）：68%（圏域内利用者合計11,521人(a)/圏域内定員数16,866人(b)）

…神照郷里圏域単独では、自圏域内の定員に余力がない数値（91%）が算出されているものの、南長浜圏域と神照郷里圏域は近接し往来が容易であり、一体的にサービス提供が可能であると考えられ、この2圏域を合算して算出した割合（68%）は平均並みとなります。